



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティ・グループ

コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) ホーン・チョン・タ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 佐藤 暢樹

TEL 03-3436-1860

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	1,703	105.2	21	107.3	75	△0.0	51	△12.8
24年12月期第1四半期	830	187.0	10	—	75	—	59	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 407百万円 (△38.0%) 24年12月期第1四半期 657百万円 (132.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	0.19	0.18
24年12月期第1四半期	0.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	21,377	12,263	57.2
24年12月期	16,382	11,849	72.1

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 12,219百万円 24年12月期 11,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月期の配当は未定とさせていただきます。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,840	154.7	223	—	166	—	4	—	0.02
通期	8,061	88.5	688	—	608	—	184	—	0.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	274,158,934 株	24年12月期	274,158,934 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	161,046 株	24年12月期	161,030 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	273,997,888 株	24年12月期1Q	274,002,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権発足後の金融・財政政策への期待感から、外国為替相場が円安基調に転換するとともに日経平均株価も上昇へ転ずるなど、明るい兆しが見えはじめました。しかしながら、欧州金融危機の長期化等により依然として世界経済は減速状態にあるなど、引続き予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、宿泊事業において、昨年10月に当社系列ホテルに加わったホテル・アゴーラ リージェンシー堺を運営管理する株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺を前期に連結子会社化したこと等により、前年同四半期比で大幅な増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高で1,703百万円（前年同四半期比105.2%増）と大幅に増加し、営業利益は21百万円（前年同四半期比107.3%増）となりました。また、営業外収益に為替差益96百万円を、営業外費用に豪州の持分法適用関連会社における分譲住宅の販売不振を要因とする投資損失31百万円計上したこと等により、経常利益は前年同四半期とほぼ同じ75百万円、特別損失に当期に連結子会社化した匿名組合における共同出資者に対する収益分配部分として匿名組合投資損失18百万円を計上したことにより、四半期純利益は51百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、前期に株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺を連結子会社化したことが寄与し、売上高は1,511百万円（前年同四半期比147.3%増）と大幅な増加となり、第1四半期累計期間としては4年ぶりに利益を計上し営業利益は25百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）と、増収増益となりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き入居率の維持向上と適宜適切な賃貸家賃の見直しに努め、業務の効率化・合理化を推進した結果、売上高は72百万円（前年同四半期比3.1%増）となり、営業利益は36百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、販売は引続き堅調に推移し、売上高は102百万円（前年同四半期比8.6%増）となり、営業利益は1百万円（前年同四半期比18.3%増）と利益を確保することができました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、主に当社が香港で保有・運用する外貨建ての外国証券に係る為替差益等が発生したことにより、営業利益は16百万円（前年同四半期比69.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて30.5%増加し、21,377百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.1%増加し、8,302百万円となりました。これは、現金及び預金が438百万円、開発事業等支出金が452百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて45.2%増加し12,918百万円となりました。これは、有形固定資産が5,870百万円増加したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて101.1%増加し、9,113百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、1,743百万円となりました。これは、短期借入金100百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて161.2%増加し、7,369百万円となりました。これは、長期借入金1,606百万円、匿名組合出資預り金が2,946百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、12,263百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が357百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、現時点で平成25年2月13日に公表いたしました平成25年12月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	534,320	972,762
売掛金	383,761	289,345
有価証券	256,773	248,898
貯蔵品	78,521	51,230
開発事業等支出金	5,687,239	6,139,660
その他	465,337	605,028
貸倒引当金	△2,448	△4,028
流動資産合計	7,403,505	8,302,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	303,822	4,316,237
車両運搬具(純額)	6,849	6,613
工具、器具及び備品(純額)	47,173	116,123
土地	1,555,520	3,355,313
住宅用賃貸不動産(純額)	4,733,120	4,723,091
有形固定資産合計	6,646,486	12,517,380
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	199	192
ソフトウェア	20,335	19,920
電話加入権	364	364
無形固定資産合計	25,898	25,477
投資その他の資産		
投資有価証券	1,309,094	54,876
長期貸付金	253,430	244,642
長期未収入金	595,580	—
その他	70,660	80,791
貸倒引当金	△4,200	△4,200
投資その他の資産合計	2,224,564	376,110
固定資産合計	8,896,950	12,918,968
繰延資産	81,668	155,563
資産合計	16,382,123	21,377,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,268	233,378
1年内返済予定の長期借入金	104,721	174,985
未払金	732,130	689,377
未払費用	179,929	156,642
未払法人税等	62,832	12,966
短期借入金	—	100,500
賞与引当金	28,000	45,418
ポイント引当金	7,006	3,703
その他	343,402	326,900
流動負債合計	1,711,290	1,743,872
固定負債		
長期借入金	1,942,982	3,549,038
匿名組合出資預り金	200,000	3,146,572
退職給付引当金	3,064	3,064
長期預り保証金	619,403	618,269
繰延税金負債	13,366	10,243
その他	42,360	42,460
固定負債合計	2,821,177	7,369,649
負債合計	4,532,467	9,113,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	△2,563,447	△2,511,467
自己株式	△12,104	△12,104
株主資本合計	13,946,243	13,998,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,222	△5
為替換算調整勘定	△2,135,837	△1,778,373
その他の包括利益累計額合計	△2,134,615	△1,778,379
新株予約権	29,096	35,542
少数株主持分	8,932	8,522
純資産合計	11,849,656	12,263,908
負債純資産合計	16,382,123	21,377,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	830,281	1,703,560
売上原価	689,955	1,530,590
売上総利益	140,325	172,969
販売費及び一般管理費	129,777	151,104
営業利益	10,548	21,865
営業外収益		
受取利息	324	56
為替差益	74,628	96,878
消費税等免税益	12,343	17,217
その他	2,421	7,662
営業外収益合計	89,717	121,814
営業外費用		
支払利息	10,971	17,826
持分法による投資損失	13,109	31,417
開業費償却	—	9,509
その他	241	9,005
営業外費用合計	24,322	67,758
経常利益	75,943	75,921
特別利益		
受取補償金	2,814	—
新株予約権戻入益	1,997	—
投資有価証券売却益	—	1,817
特別利益合計	4,812	1,817
特別損失		
固定資産除却損	371	—
匿名組合投資損失	—	18,027
特別損失合計	371	18,027
税金等調整前四半期純利益	80,384	59,711
法人税、住民税及び事業税	18,808	8,156
法人税等調整額	1,989	—
法人税等合計	20,798	8,156
少数株主損益調整前四半期純利益	59,586	51,554
少数株主損失(△)	—	△424
四半期純利益	59,586	51,979

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,586	51,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,927	△1,228
為替換算調整勘定	596,252	357,464
その他の包括利益合計	598,180	356,236
四半期包括利益	657,766	407,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	657,766	408,215
少数株主に係る四半期包括利益	—	△424

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動 産開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	611,363	70,170	94,756	53,991	830,281	—	830,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	611,363	70,170	94,756	53,991	830,281	—	830,281
セグメント利益又は損失(△)	△14,811	31,077	1,458	53,991	71,715	△61,167	10,548

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,167千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動 産開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,511,848	72,357	102,881	16,472	1,703,560	—	1,703,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,511,848	72,357	102,881	16,472	1,703,560	—	1,703,560
セグメント利益又は損失(△)	25,941	36,042	1,725	16,472	80,183	△58,317	21,865

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△58,317千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。